

公益財団法人群馬健康医学振興会 令和2年度事業報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

I. 公益目的事業

1. 「公1」県民の健康づくりのための研究助成・書籍発刊・講師派遣事業

(1) 研究助成事業

1) 医学研究、調査及び教育に対する助成

群馬県内又は近郊その他の地域に勤務する医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、理学・作業療法士、保健師、社会福祉士、その他の保健・医療及び福祉関連職、教員、団体等不特定多数の医療従事者を対象に、年度内に行う研究又は事業で当振興会の趣旨に沿った活動を募集のうえ選考を行い、令和2年度は下記の6件に研究助成金を交付した。

番号	氏名	勤務先・職名	研究又は事業のテーマ	助成額 (万円)
1	解良 武士	高崎健康福祉大学 教授	地域虚弱高齢者に対するサルコペニアスクリーニングの妥当性と比較に関する研究	30
2	黒住 献	群馬大学医学部附属病院 外科診療センター 乳腺・内分泌外科 助教	浸潤性乳癌における腫瘍免疫マーカー発現の臨床病理学的有用性の解明	30
3	柴田 淳史	群馬大学 未来先端研究機構 内分泌代謝・シグナル学研究部門 准教授	DNA 傷害により惹起される免疫制御系リガンド発現制御機構の研究	30
4	徳江 浩之	群馬大学医学部附属病院 放射線診断核医学科 助教(部内講師)	死後画像検査を利用した群馬県内の孤独死の死因究明と予防策	30
5	平川 隆史	群馬大学大学院医学系研究科 産科婦人科 准教授	プラチナ耐性再発卵巣明細胞癌における薬物療法の個別化	30
6	塚越真梨子	群馬大学大学院先端腫瘍免疫治療学講座・助教 群馬大学医学部附属病院外科診療センター 肝胆膵外科	肝胆膵周術期サルコペニア症例に対するリハビリテーション栄養の効果に関する研究	30
合 計				180

2) 海外留学に対する助成

群馬県に在住又は勤務若しくは将来群馬県の医学、医療及び福祉の発展に寄与しうる一定の研究業績等を有する40歳未満の研究者を対象に

募集のうえ選考を行い、令和2年度は下記の者に海外留学助成金を交付した。

番号	氏名	勤務先・職名	研究テーマ	留学先	助成額 (万円)
1	山口 公一	群馬大学医学部 附属病院 呼吸 器・アレルギー 内科 医員	膠原病関連間質 性肺炎の基礎な らびに臨床研究	Department of Medicine / University of Pittsburgh School of Medicine Division of Rheumatology and Clinical Immunology	50

3) 学会・研修会等に対する助成

県民の健康増進を推進する事を目的とした医学、医療、福祉に関するセミナー、研究会、学術集会、学会、公開講座、ワークショップ等の主催者から申請を受け選定する。交付する助成金の財源は寄附金収入とし、令和2年度は下記2件の募金を行った。

① 第57回日本小児アレルギー学会学術大会運営基金

会 長：望月博之 東海大学医学部専門診療学系小児科学教授
募金期間：令和2年6月1日から令和2年11月30日まで

② 第22回日本病院総合診療医学会学術総会運営基金

会 長：佐藤正通 国立病院機構高崎総合医療センター総合診療科・
内科総合診療科部長
募金期間：令和2年10月19日から令和3年2月28日まで

(2) 書籍発行事業

概ね5年毎の研究助成、講師派遣事業の成果、及びその間に法人が収集した最新の医学の進歩について、広く県民、地域住民に知らしめるための書籍を発刊し、地域の医師会、病院、学校施設、行政などに寄贈すると共に一般の書店、病院で販売する。平成元年4月に創刊後、これまでに6冊を発刊し、令和4年度に“健康医学ガイド7”を発刊する予定である。令和2年度は「企画・刊行委員会」及び「編集委員会」を設置し、発刊に向けた具体的検討を開始した。

発刊資金については当該年度単体で準備できないため、各年度予算の範囲内において積み立てる必要があり、平成29年度から5年間で「特定費用準備資金」として総額5百万円を積み立てる予定である。

積み立てる「特定費用準備資金」の詳細は下記のとおり。

区 分	内 容
1. 資金の名称	書籍発刊積立資産
2. 資金の内容	“健康医学ガイド7”の発刊資金
3. 資金の計画期間	平成29年度～令和3年度（5か年）
4. 活動の実施予定時期	令和4年度
5. 資金の積立額	令和2年度：1百万円 （累計：4百万円） （総額：5百万円）
6. 資金の算出根拠	“健康医学ガイド第6刊”（3,000部）の実績に準拠 1.印刷代： 4,310,000円 2.執筆謝金： 550,000円 3.頒布郵便代等： 140,000円 合計 5,000,000円

(3) 講師派遣事業

令和2年度の派遣はなかった。

II. 収益目的事業

1. 「収1」医師賠償責任保険の委託契約集金事務

株式会社 北栄を取扱代理店とする医師賠償責任保険の委託契約集金事務の実績は、下記のとおりであった。

摘 要	加入者数	事務費	備 考
団体医師賠償責任保険	2,248名	5,520,354円	

III. 管理事業

1. 賛助会員

賛助会員の募集を行い、次のとおり賛同者を得た。

区 分	員 数	口 数	会 費	備 考
個人会員	52名	141口	705,000円	1口5千円
法人会員	39名	49口	2,450,000円	1口5万円
計	91名	—	3,155,000円	

2. 奨学・研究寄附金

下記の奨学・研究寄附金を受けた。

名 称	目 的	件数	金額	備考
奨学・研究寄附金	医学及び医療に必要な教育・研究の振興のため	1件	1億円	

3. 理事会、評議員会の開催

(1) 理事会の開催

定時(第 25 回)理事会開催 令和 2 年 5 月 20 日

臨時(第 26 回)理事会開催 令和 2 年 6 月 18 日

定時(第 27 回)理事会開催 令和 3 年 3 月 25 日

(2) 評議員会の開催

定時(第 15 回)評議員会開催 令和 2 年 6 月 18 日

(3) 令和 2 年度理事会・評議員会合同会議 令和 2 年 10 月 15 日

財産目録
令和3年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)				
当座預金	ゆうちょ銀行	賛助会員費管理として	1,753,138	
当座預金	ゆうちょ銀行	学術集会等支援資金管理 奨学・研究寄附金管理として	149,827	
		当座預金・計	1,902,965	
普通預金	東和銀行	賛助会員費管理・運転資金として	2,110,171	
普通預金	三井住友銀行	定期利息管理として	196,750	
普通預金	みずほ銀行	運転資金として	111,858	
普通預金	ゆうちょ銀行	運転資金として	260,170	
普通預金	東和銀行	学術集会等支援資金管理 奨学・研究寄附金管理として	88,927	
普通預金	東和銀行	黒梅基金管理として	105	
普通預金	東和銀行	書籍発刊管理として	14	
		普通預金・計	2,767,995	
小計			4,670,960	
たな卸資産	書籍「健康医学ガイド6“肥満と疾患:どこまで解明されたか”」	公1:書籍発刊事業の在庫 (476冊 @1,620円)	771,120	
流動資産合計			5,442,080	
(固定資産)				
基本財産	定期預金	三井住友銀行	公益目的保有財産	10,000,000
特定資産	書籍発刊資金	ゆうちょ銀行	特定費用準備資金	4,000,000
特定資産	奨学・研究基金	東和銀行	使途制約寄付金	100,000,000
特定資産	黒梅基金	東和銀行	使途制約寄付金	2,500,000
小計				106,500,000
固定資産合計				116,500,000
資産合計				121,942,080
(流動負債)				
	未払法人税等	前橋行政県税事務所	令和3年3月期法人県民税等	21,400
	未払法人税等	前橋市	令和3年3月期法人市民税	60,000
	小計			81,400
	預り金	職員	源泉所得税・雇用保険料の預り金	42,614
流動負債合計				124,014
固定負債合計				0
負債合計				124,014
正味財産				121,818,066

公益財団法人群馬健康医学振興会 理事、監事及び評議員に
対する報酬等の支給の基準を記載した書類

公益財団法人 群馬健康医学振興会定款第 12 条及び第 27 条の規定により、
理事、監事及び評議員の報酬は、無報酬とする。

<定款抜粋>

第 4 章 評議員

(報酬等)

第 12 条 評議員は無報酬とする。

2 前項の規定にかかわらず、評議員には費用を弁償することができる。

第 6 章 役員

(報酬等)

第 27 条 役員は、無報酬とする。

貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
預金	4,670,960	4,665,365	5,595
たな卸資産	771,120	991,440	△ 220,320
流動資産合計	5,442,080	5,656,805	△ 214,725
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
書籍発刊資金	4,000,000	3,000,000	1,000,000
学術集会等支援資金、奨学・研究寄附金	100,000,000	570,000	99,430,000
黒梅基金	2,500,000	2,500,000	0
特定資産合計	106,500,000	6,070,000	100,430,000
(3) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	116,500,000	16,070,000	100,430,000
資産合計	121,942,080	21,726,805	100,215,275
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払法人税等	81,400	81,400	0
預り金	42,614	42,050	564
流動負債合計	124,014	123,450	564
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	124,014	123,450	564
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	102,480,260	3,070,231	99,410,029
指定正味財産合計	102,480,260	3,070,231	99,410,029
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(102,480,260)	(3,070,000)	(99,410,260)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(4,000,000)	(3,000,000)	(1,000,000)
正味財産合計	121,818,066	21,603,355	100,214,711
負債及び正味財産合計	121,942,080	21,726,805	100,215,275

正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日 から令和 3年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	1,003	1,000	3
受取会費			
賛助会員受取会費	3,155,000	3,080,000	75,000
事業収益			
保険事業収入	5,520,354	5,458,923	61,431
受取寄付金			
受取寄付金振替額	2,580,000	11,710,000	△ 9,130,000
雑収益			
受取利息	71	63	8
経常収益計	11,256,428	20,249,986	△ 8,993,558
(2) 経常費用			
事業費			
期首たな卸高	991,440	1,202,040	△ 210,600
期末たな卸高	△ 771,120	△ 991,440	220,320
給料手当	3,647,673	3,624,673	23,000
福利厚生費	269,671	288,706	△ 19,035
旅費交通費	36,000	36,000	0
通信運搬費	119,299	187,413	△ 68,114
消耗什器備品費	0	251,100	△ 251,100
消耗品費	132,664	315,754	△ 183,090
修繕費	11,880	97,101	△ 85,221
印刷製本費	163,035	140,474	22,561
光熱水料費	18,230	25,276	△ 7,046
賃借料	178,200	176,580	1,620
諸謝金	100,233	100,233	0
租税公課	3,650	3,650	0
支払助成金	4,251,000	12,949,500	△ 8,698,500
委託費	427,680	551,340	△ 123,660
会議費	171,717	183,286	△ 11,569
広報活動費	0	59,400	△ 59,400
支払手数料	39,578	43,533	△ 3,955
事業費計	9,790,830	19,244,619	△ 9,453,789
管理費			
給料手当	405,297	402,742	2,555
福利厚生費	29,964	32,078	△ 2,114
会議費	19,080	20,365	△ 1,285
旅費交通費	4,000	4,000	0
通信運搬費	13,255	20,824	△ 7,569
消耗什器備品費	0	27,900	△ 27,900
消耗品費	14,741	35,084	△ 20,343
修繕費	1,320	10,789	△ 9,469
印刷製本費	18,115	15,608	2,507
光熱水料費	2,026	2,808	△ 782
賃借料	19,800	19,620	180
委託費	47,520	61,260	△ 13,740
支払手数料	4,398	4,837	△ 439
管理費計	579,516	657,915	△ 78,399
経常費用計	10,370,346	19,902,534	△ 9,532,188
評価損益等調整前当期経常増減額	886,082	347,452	538,630
当期経常増減額	886,082	347,452	538,630
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	886,082	347,452	538,630
法人税、住民税及び事業税	81,400	81,400	0
当期一般正味財産増減額	804,682	266,052	538,630
一般正味財産期首残高	18,533,124	18,267,072	266,052
一般正味財産期末残高	19,337,806	18,533,124	804,682
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金			
受取寄付金	101,990,029	10,450,067	91,539,962
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 2,580,000	△ 11,710,000	9,130,000
当期指定正味財産増減額	99,410,029	△ 1,259,933	100,669,962
指定正味財産期首残高	3,070,231	4,330,164	△ 1,259,933
指定正味財産期末残高	102,480,260	3,070,231	99,410,029
III 正味財産期末残高	121,818,066	21,603,355	100,214,711

令和 3 年 5 月 11 日

公益財団法人群馬健康医学振興会
理事長 鈴木 忠 殿

公益財団法人群馬健康医学振興会

監事 鈴木 庄 亮 

公益財団法人群馬健康医学振興会

監事 金澤 紀 雄 

監 査 報 告 書

私たち監事は、令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査致しました。

その方法及び結果について、次のとおり報告致します。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めると共に、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査致しました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討致しました。

更に、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録について検討致しました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及び財産目録の監査結果

計算書類及び財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。